

話題 (その I)

第 2 回 核 データ ・ 炉 物 理 合 同 特 別 会 合 の 報 告

日本原子力学会の秋の分科会 (昭和 53 年 10 月 8 日, 神戸商船大) において, 「シグマ」及び「炉物理研究」両特別専門委員会の共催で標記のインフォーマル・ミーティングが行われました。会合の次第は次の通りです。(敬称略)

座長: 中 嶋 龍 三 (法政大)

- | | |
|--------------------------|---------------|
| 1. Harwell Conference 報告 | 山 室 信 弘 (東工大) |
| | 弘 田 実 弥 (原 研) |
| 2. ORELA の最近の活動について | |
| | 水 本 元 治 (原 研) |
| 3. 炉物理における核データの問題について | |
| i) 核融合ブランケット | 前 川 洋 (原 研) |
| ii) FP 効果 | 小 山 謹 二 (原 研) |
| 4. NEACRP 第 21 回会合について | |
| | 弘 田 実 弥 (原 研) |

今回は核データのインフォーマル・ミーティングとしては第 5 回目に当たります。これまでも毎回、講演者にはその時の講演内容とほぼ同じものを本誌に執筆していただいておりますが、今回も水本前川、小山の 3 氏に講演以外のことも含めて執筆していただきました。なお、今回の会合の中心テーマであった Harwell Conference については、講演された山室、弘田両氏により日本原子力学会誌 Vol. 20, No. 12 (1978) pp41-42 に「Harwell 会議に参加して」と題して寄稿されておりますので、重複を避ける意味からここでは割愛させていただきます。当誌に掲載した分と合せご覧いただくことを望みます。なお、Harwell Conference に関しては、本誌の話題Ⅲに更田氏の国際会合出席報告の中に別の観点からの記事があり、また本誌の資料欄に Conference のプログラムを載せてありますので、これらを通じて 78 Harwell Conference の全容を知っていただけるものと思います。

(事務局編集係)